

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月30日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	景観形成誘導事業	コード	12105
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 建設水道部	課等 都市計画課	作成者 小平 寛
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち		
		政 策	居住環境の充実	施 策	居住環境の充実
		予算科目	景観形成推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	景観法第4条、第16条 屋外広告物法第4条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	本市の優れた景観資源を活かし、個性ある景観を保全・育成し、市民、事業者と共に景観づくりを行う。			
目的	対象者	市民、事業者		
	意 図	景観形成		

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
		<ul style="list-style-type: none"> ・県の景観条例による大規模行為に関する届出を6件受理し、工事内容を確認した上で、県に進達した。 ・県の屋外広告物条例により許可区域内の広告物について24件の許可（更新19件、新規5件）を行った。 ・屋外広告物適正旬間において関係団体と違反パトロールを実施した。 		
前年度の課題への対応	岡谷市景観計画（案）については、各事業との整合をはかりながら、計画の必要性とされる要件等の整理を行い、計画（案）の活用を検討する。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）		
① 活動指標（指標名）	違反パトロール数			単位	件	
	実績値	1	1	1		
	*指標の説明	違反パトロール数				
② 成果指標（指標名）	景観の保全・誘導数			単位	件	
	目標値	8	10	6	6	
	実績値	12	6	6		
	達成度	150.0%	60.0%	100.0%		
	*指標の説明	景観計画区域内における大規模行為の届出件数				
*目標値の設定方法の説明	前年度の実績から設定					

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	255,000	195,544	195,704	210,000
経常経費	255,000	195,544	195,704	210,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	480,000	480,000	1,200,000	1,200,000
正規職員の人数(人)	0.06	0.06	0.15	0.15
③ 合計コスト(①+②)	735,000	675,544	1,395,704	1,410,000
前年度比		91.9%	206.6%	101.0%
財源	735,000	675,544	1,395,704	1,410,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	735,000	675,544	1,395,704	
前年度比		91.9%	206.6%	
⑤ コストに関する補足説明	業務増に伴う事務量の見直しに伴うコスト増			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	100.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	100.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>良好な景観形成に総論としては異論はないが、色彩や諏訪湖周辺の高さなどの基準に対しては様々な考え方があり、景観形成基準に関する合意形成が課題である。</p>	
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>岡谷市景観計画（案）については、計画の必要性が明確となった際に再検証する。</p>	
	改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---